

ANAホールディングス株式会社 説明会

2024年3月期 第1四半期決算

2023年7月28日

上席執行役員
グループCFO

中堀 公博



目次

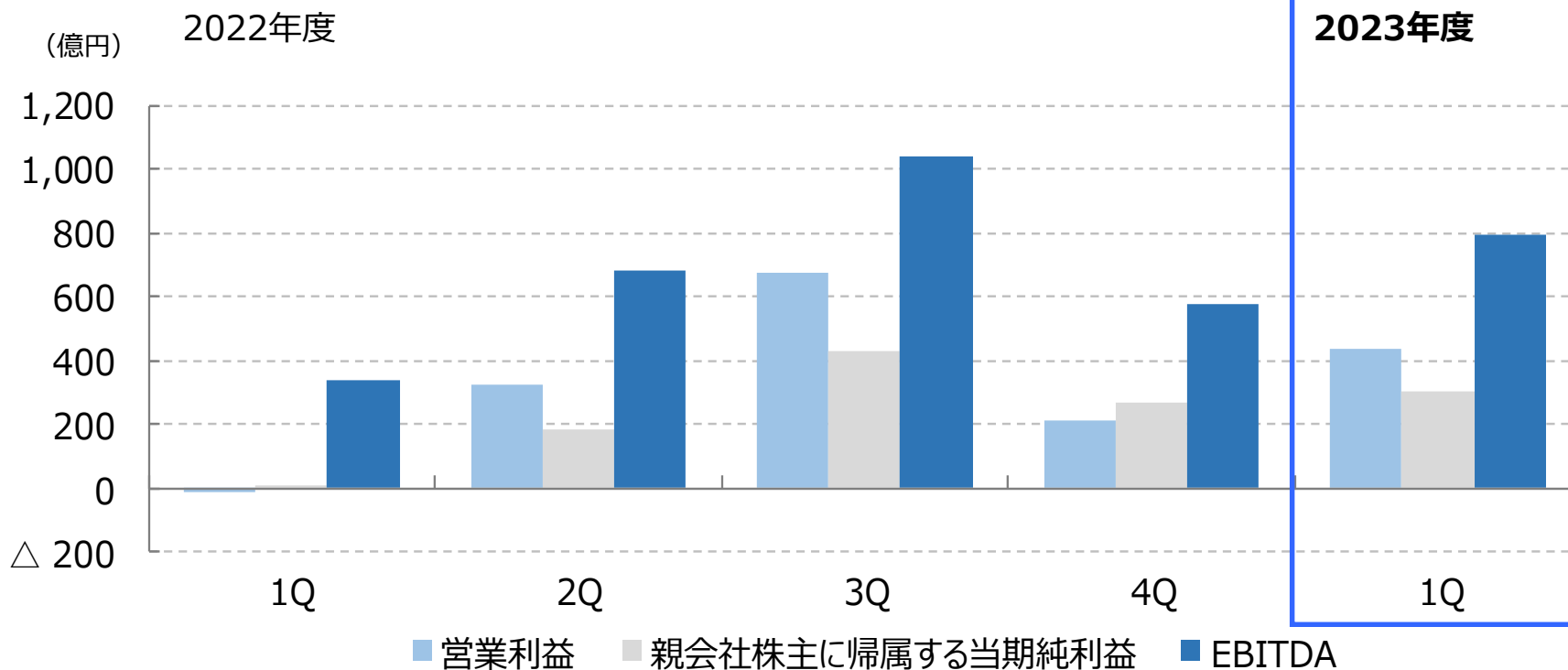
1. 2023年度 第1四半期決算

業績ハイライト			
当年度と前年度各四半期の業績比較	P. 3		
事業別のポイント	P. 4		
連結決算概要			
経営成績	P. 5		
財政状態	P. 6		
キャッシュフロー	P. 7		
セグメント別実績	P. 8		
航空事業			
収入・費用	P. 9		
営業利益 増減要因	P. 10		
ANA国際旅客	P. 11-13		
ANA国内旅客	P. 15-16		
ANA国際貨物	P. 17-19		
ANA国内貨物	P. 20		
LCC (Peach Aviation)	P. 21-22		
ANA国際線 方面別実績 (構成比)	P. 23-24		
航空事業・事業別の需要動向	P. 25		
燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANA)	P. 26		
航空機数	P. 27		
		ノンエア事業	
		航空事業以外のセグメント	P. 28
		補足資料	
		NCAの完全子会社化について	P. 29



当年度と前年度各四半期の業績比較

【2023年度 第1四半期 (連結)】

- 営業利益 : 437億円 (前年同期比 + 451億円)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 306億円 (同 + 296億円)
- EBITDA : 791億円 (同 + 453億円)



事業別のポイント

	第1四半期の概況	収入前年比（前年差）
 国際旅客	1) 旺盛な海外発需要（訪日・三国間）を取り込み 2) 需給逼迫を背景に、イールドコントロールの徹底を継続	2.7倍（+1,051億円） 第1四半期として過去最高収入
国内旅客	1) 70周年セールを実施し、レジャー需要を獲得 2) 6月搭乗分から運賃値上げを実施	+40%（+404億円）
国際貨物	1) 主要商材の需要が減退、柔軟に運航便を設定 2) 三国間貨物の取り込みを強化	△60%（△565億円）
 LCC	1) 国内線は幹線を中心に、利用率が大幅改善 2) 国際線を増便し、旺盛な訪日需要を取り込み	+78%（+121億円）

回復する旅客需要を最適な運賃コントロールで取り込み → トップラインが前年から大幅伸長

経営成績

(億円)	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年差
売上高	3,504	4,610	+ 1,106
営業費用	3,517	4,172	+ 655
営業利益	△ 13	437	+ 451
営業利益率 (%)	-	9.5	-
営業外損益	57	△ 5	△ 62
経常利益	43	432	+ 388
特別損益	△ 0	-	+ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益	10	306	+ 296
四半期純利益	11	309	+ 297
その他包括利益	278	276	△ 1
包括利益	289	586	+ 296

財政状態

(億円)	FY2022 期末	FY2023 第1四半期末	前年度 期末差
総資産	33,667	34,653	+ 986
自己資本	8,624	9,127	+ 503
自己資本比率 (%)	25.6	26.3	+ 0.7pt
有利子負債残高	16,079	15,729	△ 349
D/ELシオ (倍)	1.9	1.7	△ 0.1
手元流動性資金 *1	11,837	12,537	+ 700
純有利子負債残高 *2	4,241	3,191	△ 1,050
ネットD/ELシオ (倍) *3	0.5	0.3	△ 0.1

*1 手元流動性資金 = 現金及び預金 + 有価証券

*2 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - 手元流動性資金

*3 ネットD/ELシオ = 純有利子負債 ÷ 自己資本

キャッシュフロー

(億円)	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年差
営業キャッシュフロー	1,189	1,394	+ 204
投資キャッシュフロー *1	△ 414	△ 692	△ 278
財務キャッシュフロー	△ 236	△ 432	△ 195
現金及び現金同等物の増減額 *1	599	298	△ 301
現金及び現金同等物の期首残高 *1	8,823	11,134	} + 298
現金及び現金同等物の期末残高 *1	9,423	11,433	
減価償却費	376	353	△ 22
設備投資額 (固定資産のみ)	287	435	+ 147
実質フリーキャッシュフロー (3ヶ月超の譲渡性預金等を除く)	976	1,103	+ 127
EBITDA (営業利益 + 減価償却費 *2)	337	791	+ 453
EBITDAマージン (%)	9.6	17.2	+ 7.5pt

*1 当年度よりキャッシュフローにおける資金の範囲を変更 (前年実績も変更を反映)

*2 休止機材費に計上した減価償却費を含まない

セグメント別実績

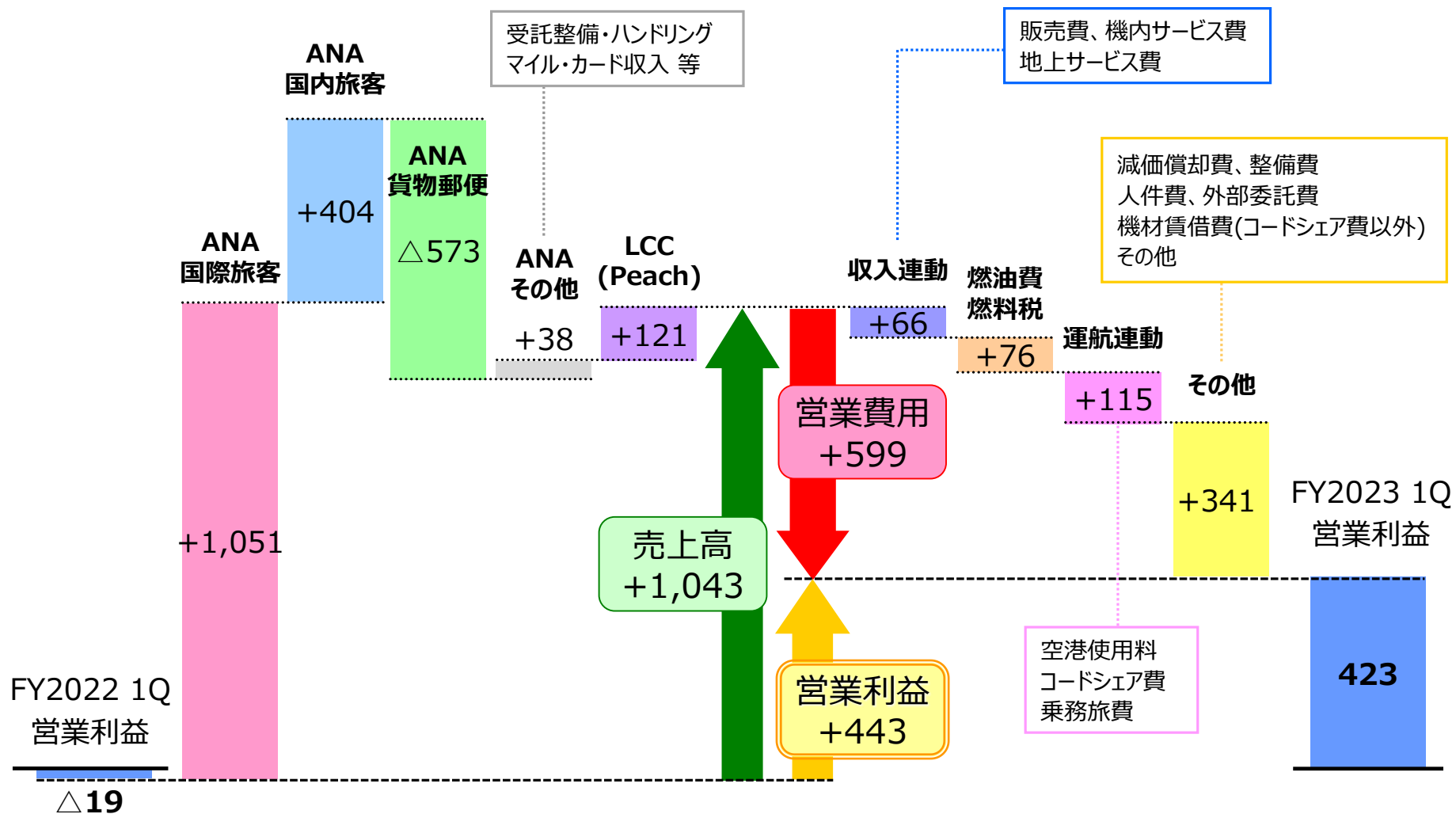
(億円)		FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年差
売上高	航空事業	3,142	4,185	+ 1,043
	航空関連事業	554	675	+ 121
	旅行事業	139	177	+ 37
	商社事業	224	275	+ 50
	その他	89	90	+ 1
	調整額	△ 645	△ 793	△ 148
	合計 (連結)	3,504	4,610	+ 1,106
営業利益	航空事業	△ 19	423	+ 443
	航空関連事業	19	31	+ 11
	旅行事業	△ 5	1	+ 7
	商社事業	5	11	+ 6
	その他	2	0	△ 2
	調整額	△ 15	△ 31	△ 15
	合計 (連結)	△ 13	437	+ 451

収入・費用

(億円)		FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年差
売上高	ANA 国際旅客	622	1,673	+ 1,051
	ANA 国内旅客	1,020	1,425	+ 404
	ANA 貨物郵便	1,026	453	△ 573
	ANA その他	316	355	+ 38
	LCC	155	277	+ 121
	合計	3,142	4,185	+ 1,043
営業費用	燃油費・燃料税	784	861	+ 76
	空港使用料	119	197	+ 78
	航空機材賃借費	316	360	+ 43
	減価償却費	336	340	+ 4
	整備部品・外注費	295	391	+ 95
	人件費	420	465	+ 44
	販売費	113	129	+ 15
	外部委託費	454	596	+ 142
	その他	321	419	+ 97
		合計	3,162	3,761
営業利益	営業利益	△ 19	423	+ 443
	EBITDA (営業利益+減価償却費)	316	764	+ 447
	EBITDAマージン (%)	10.1	18.3	+ 8.2pt

営業利益 増減要因

(億円)



ANA国際旅客

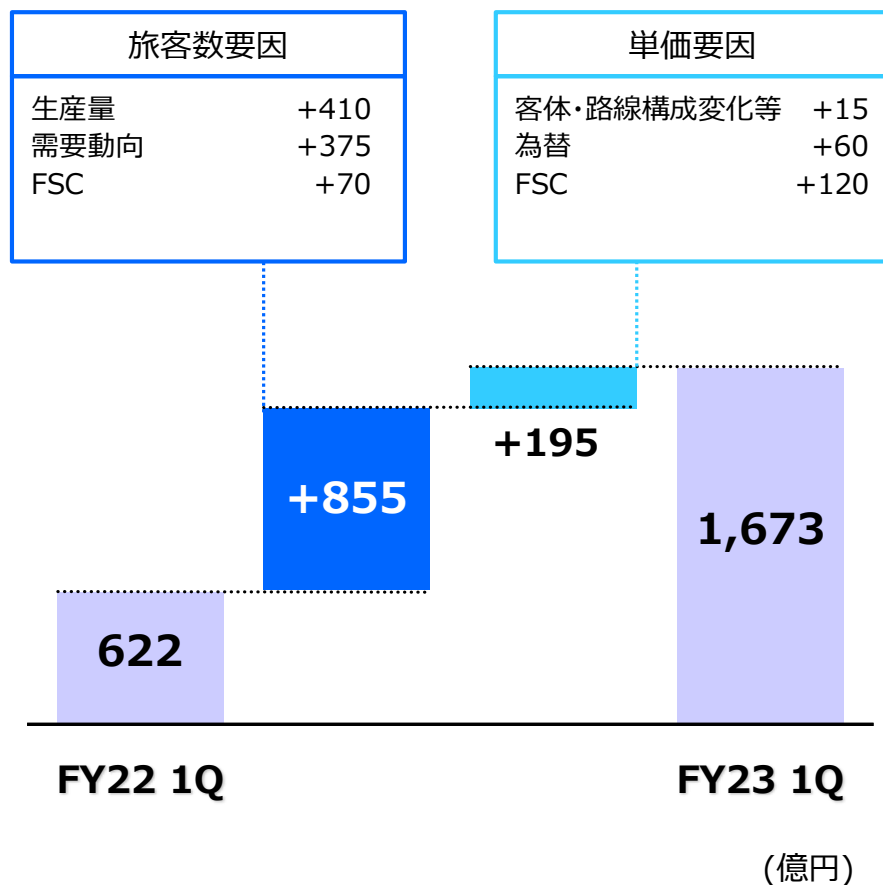
	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年比(%) (CY19比)*2
座席キロ (百万)	6,204	12,556	+ 102.4 (△26.7)
旅客キロ (百万)	4,389	9,698	+ 121.0 (△28.5)
旅客数 (千人)	684	1,623	+ 137.2 (△38.6)
座席利用率 (%)	70.7	77.2	+6.5pt*1 (△1.9pt)
旅客収入 (億円)	622	1,673	+ 168.9 (+3.1)
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キロ)	10.0	13.3	+ 32.9 (+40.8)
イールド (円) (旅客収入/旅客キロ)	14.2	17.3	+ 21.7 (+44.2)
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	90,905	103,058	+ 13.4 (+68.1)

*1 座席利用率のみ前年差及びCY19差

*2 2019年4~6月期実績を、新収益認識基準に置き換えた場合の数値と比較

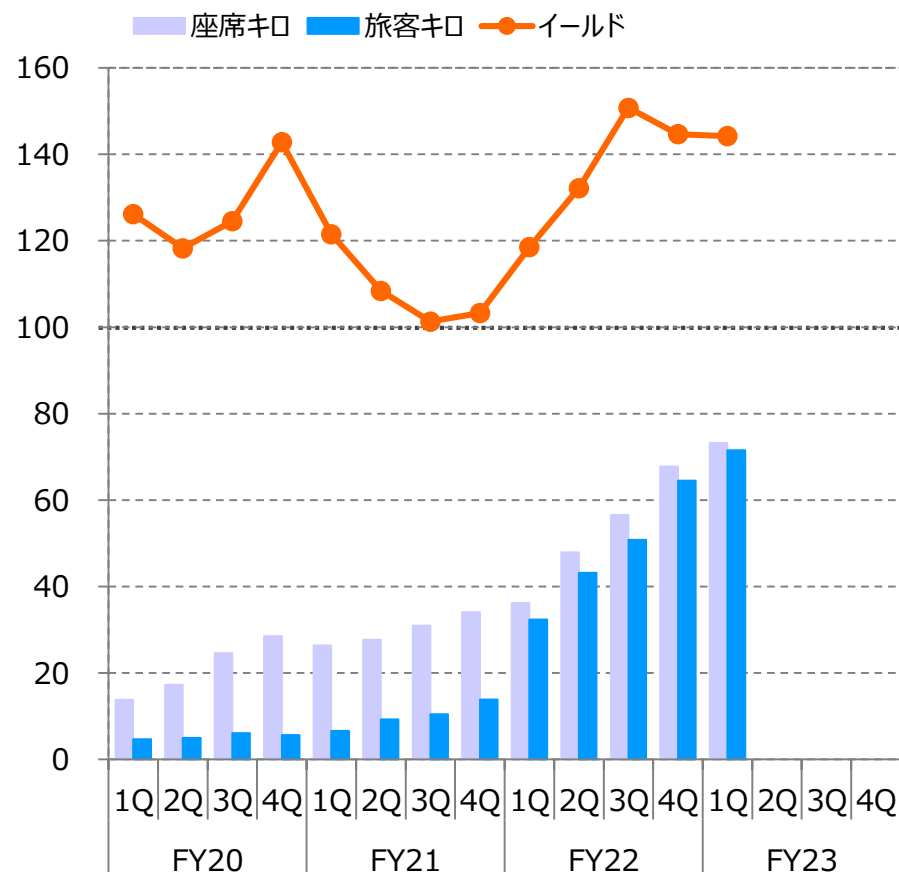
ANA国際旅客（事業動向）

第1四半期 収入増減要因（前年差）



四半期別 実績推移

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100

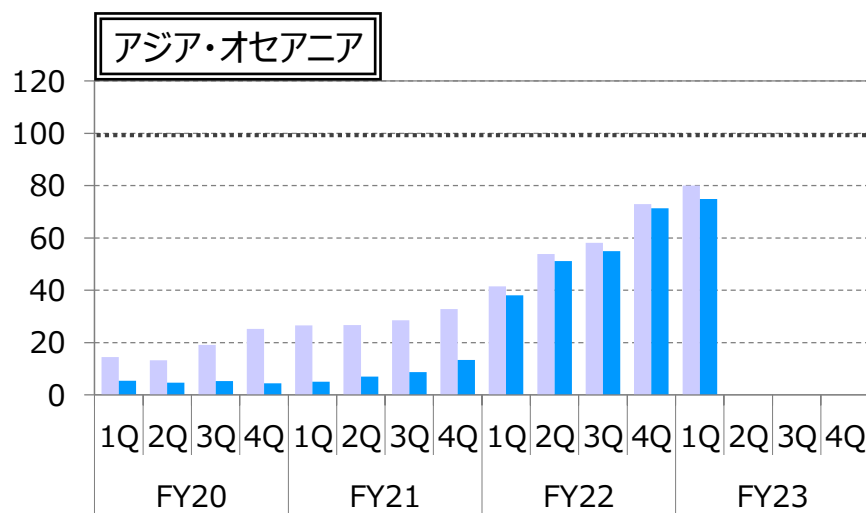
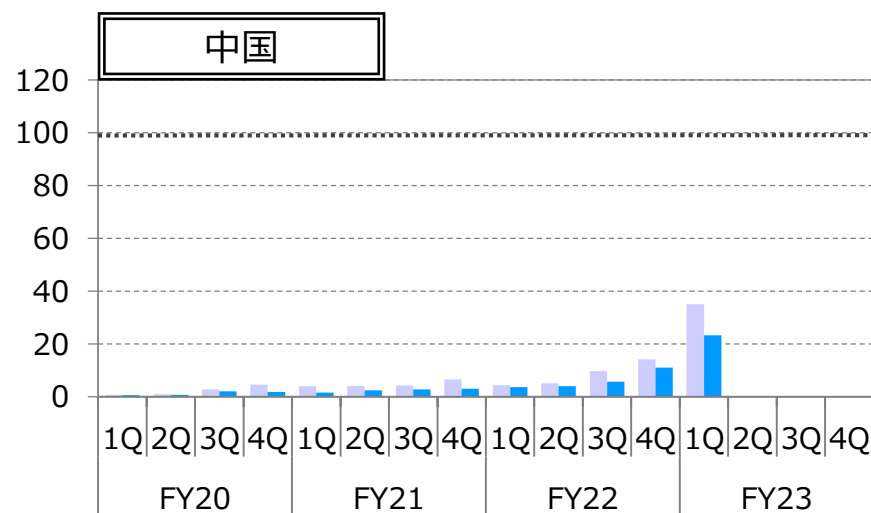
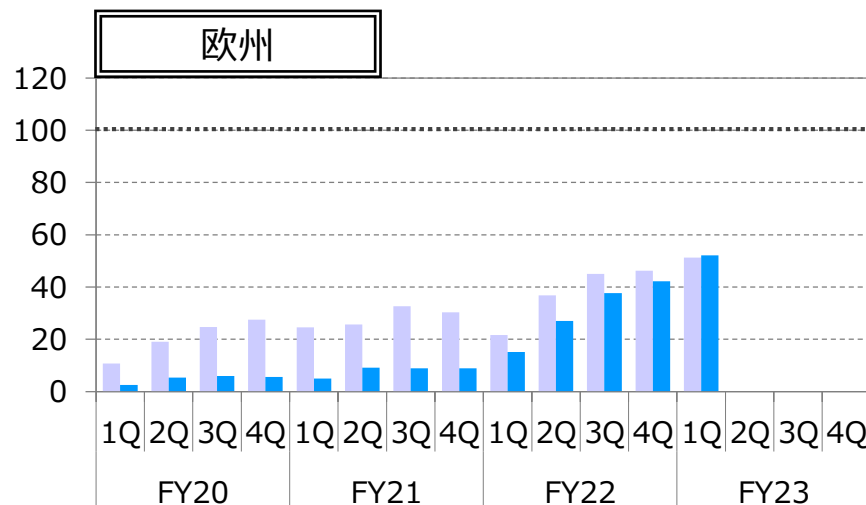
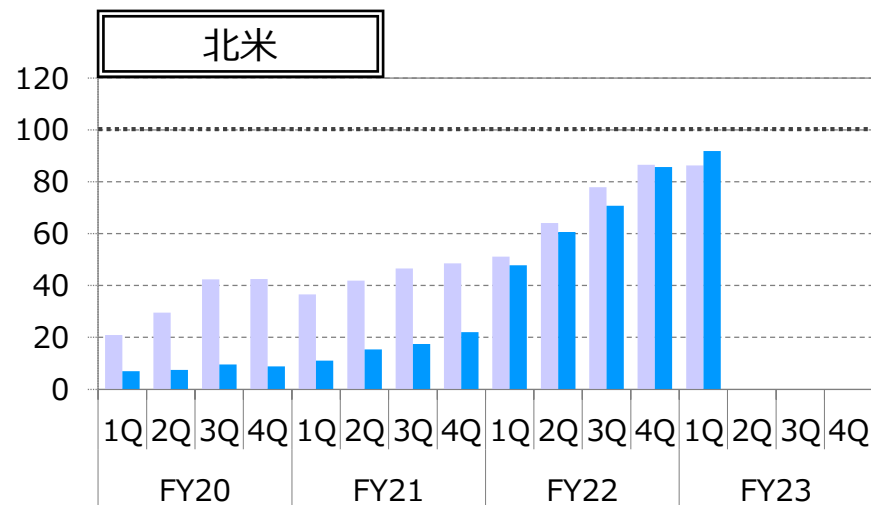


* 2020年度以前の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国際旅客（四半期別・方面別 推移）

指数：コロナ前（2019年1~12月）各四半期実績=100

■：座席キロ ■：旅客キロ



* 2020年度以前の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

Intentionally Left Blank

ANA国内旅客

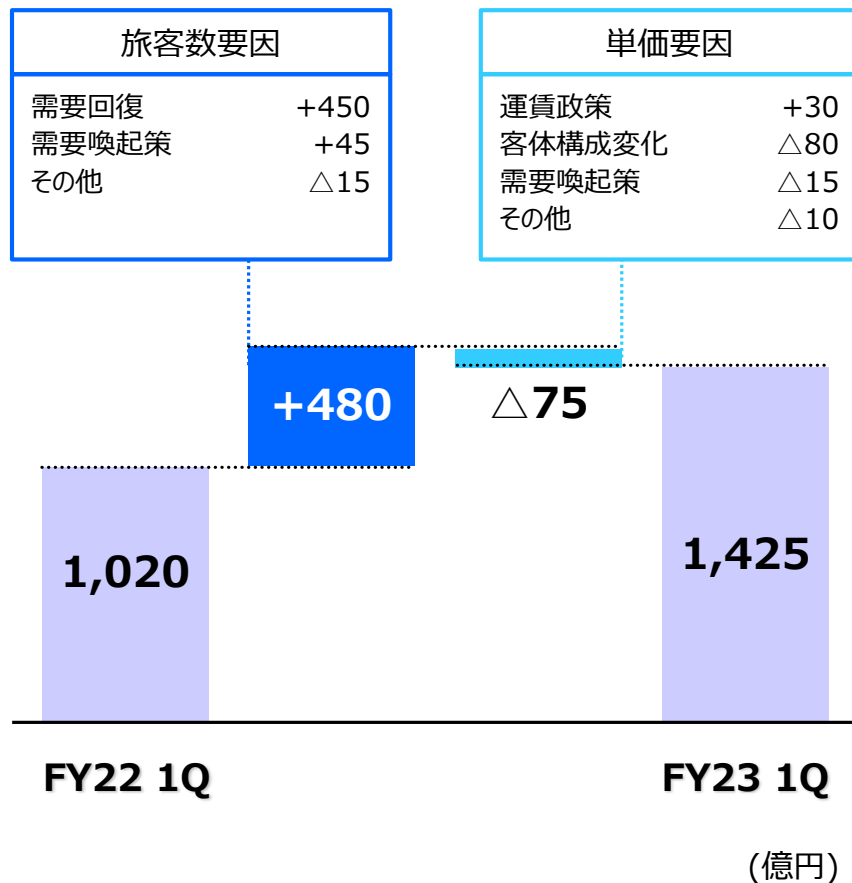
	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年比(%) (CY19比)*2
座席キロ (百万)	11,084	13,424	+ 21.1 (△9.2)
旅客キロ (百万)	5,976	8,982	+ 50.3 (△13.9)
旅客数 (千人)	6,569	9,672	+ 47.2 (△15.2)
座席利用率 (%)	53.9	66.9	+13.0pt*1 (△3.7pt)
旅客収入 (億円)	1,020	1,425	+ 39.7 (△15.0)
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キロ)	9.2	10.6	+ 15.3 (△6.4)
イールド (円) (旅客収入/旅客キロ)	17.1	15.9	△ 7.1 (△1.3)
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	15,540	14,740	△ 5.1 (+0.2)

*1 座席利用率のみ前年差及びCY19差

*2 2019年4~6月期実績を、新収益認識基準に置き換えた場合の数値と比較

ANA国内旅客（事業動向）

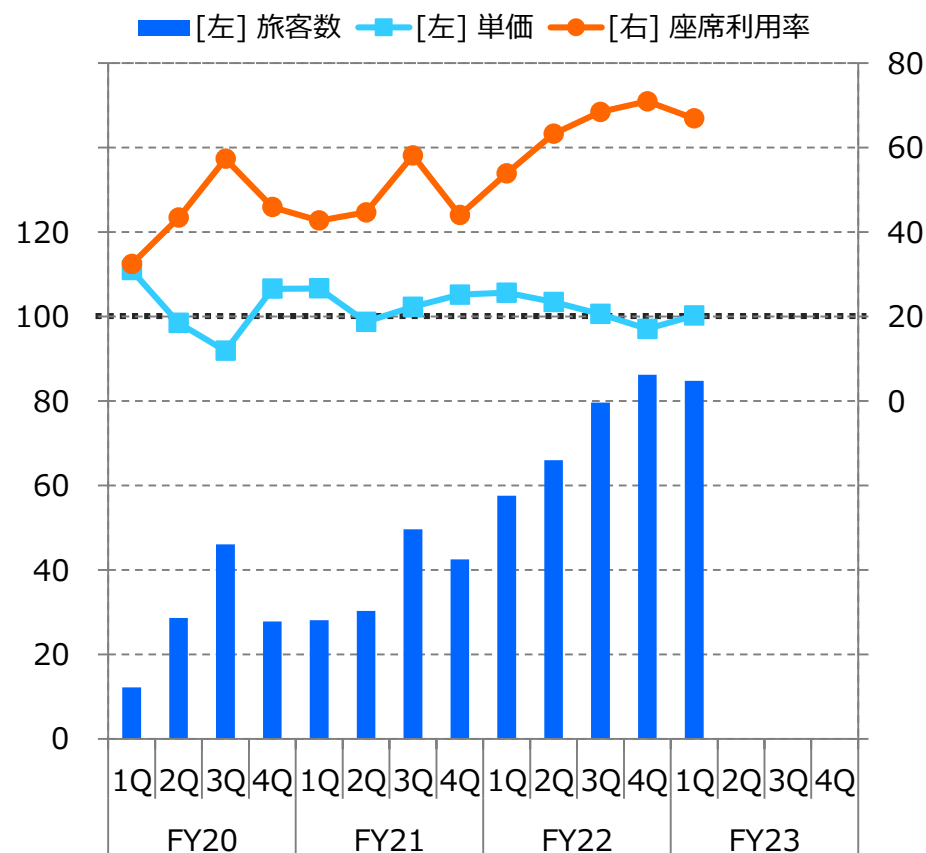
第1四半期 収入増減要因（前年差）



四半期別 実績推移

[左] 指数（コロナ前（2019年1~12月）各四半期実績=100）

[右] 実績（%）



* 2020年度以前の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国際貨物（ベリー＋フレイター）

	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,644	1,580	△ 3.9
有償貨物トンキロ（百万）	1,125	864	△ 23.3
貨物輸送重量（千トン）	215	171	△ 20.4
貨物重量利用率（%）	68.5	54.7	△13.8pt*
貨物収入（億円）	947	381	△ 59.7
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	57.6	24.1	△ 58.1
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	84.1	44.2	△ 47.5
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	439	222	△ 49.4

* 貨物重量利用率のみ前年差

ANA国際貨物（フレイターのみ）

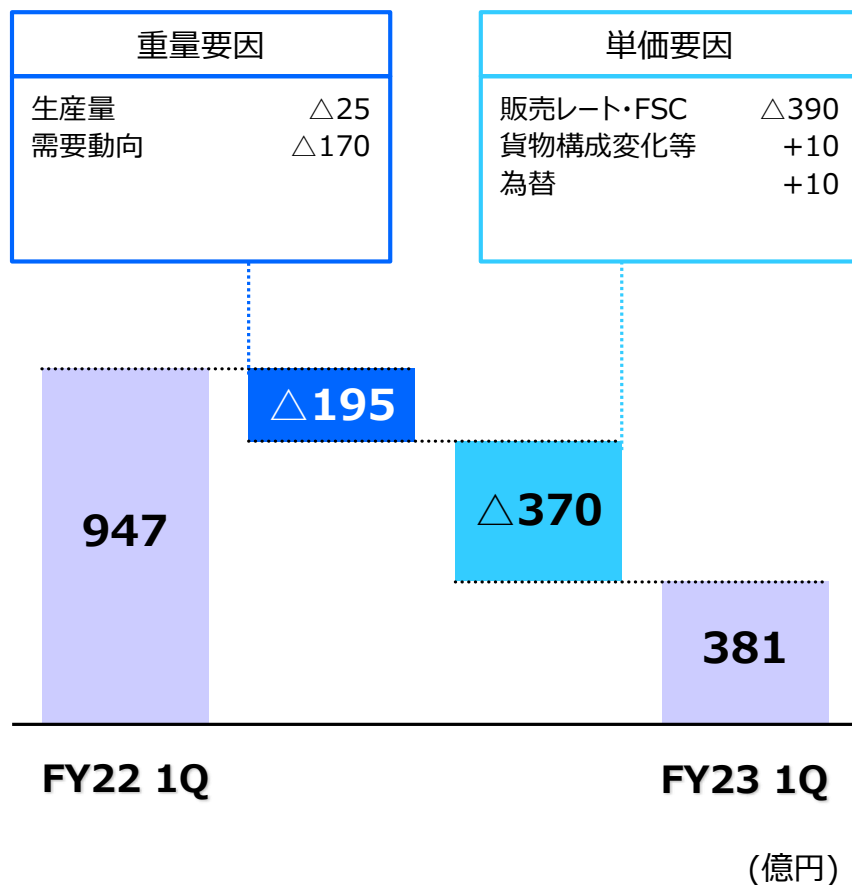
本表のデータは、P.17記載実績の内数

	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	623	466	△ 25.1
有償貨物トンキロ（百万）	411	296	△ 28.0
貨物輸送重量（千トン）	101	75	△ 25.6
貨物重量利用率（%）	66.0	63.4	△ 2.6pt*
貨物収入（億円）	402	153	△ 61.7
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	64.5	32.9	△ 48.9
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	97.7	51.9	△ 46.8
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	395	203	△ 48.5

* 貨物重量利用率のみ前年差

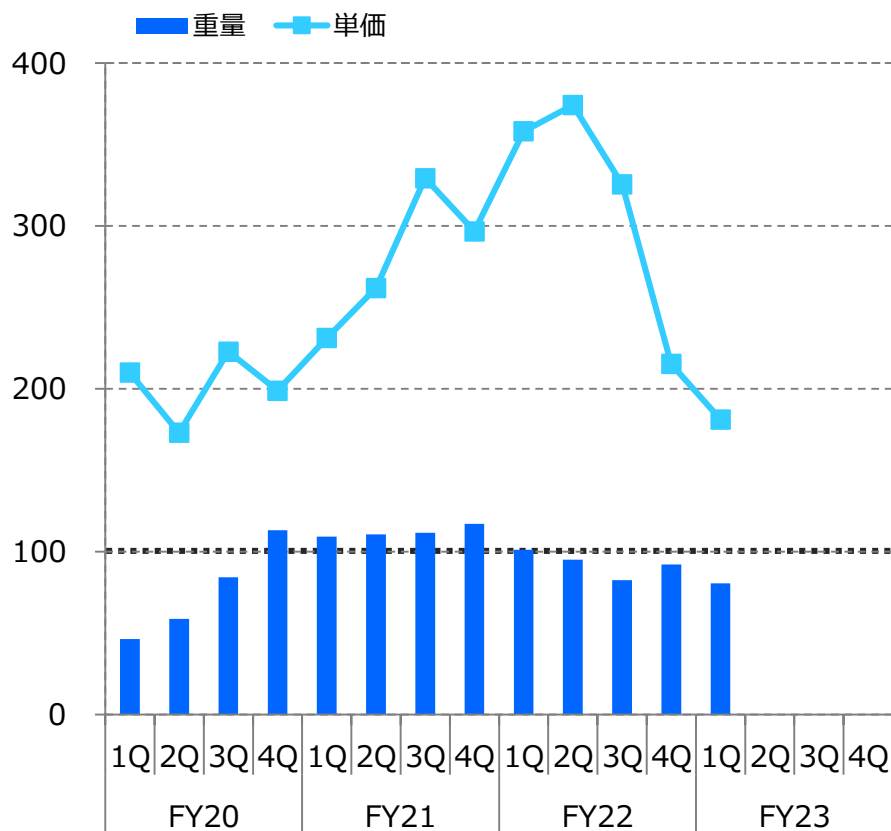
ANA国際貨物（事業動向）

第1四半期 収入増減要因（前年差）



四半期別 実績推移

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100



ANA国内貨物

	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ (百万)	299	412	+ 37.6
有償貨物トンキロ (百万)	67	65	△ 2.9
貨物輸送重量 (千トン)	59	58	△ 2.4
貨物重量利用率 (%)	22.6	16.0	△ 6.7pt*
貨物収入 (億円)	59	52	△ 10.4
ユニットレベニュー (円) (貨物収入/有効貨物トンキロ)	19.7	12.8	△ 34.9
イールド (円) (貨物収入/有償貨物トンキロ)	87.2	80.4	△ 7.7
重量単価 (円/kg) (貨物収入/貨物輸送重量)	99	91	△ 8.2

* 貨物重量利用率のみ前年差

LCC (Peach Aviation)

(国内線・国際線合計)	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	2,894	3,180	+ 9.9
旅客キロ (百万)	1,938	2,671	+ 37.8
旅客数 (千人)	1,702	2,158	+ 26.8
座席利用率 (%)	67.0	84.0	+17.0pt*1
売上高 (億円) *2	155	277	+ 78.2
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	5.4	8.7	+ 62.2
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	8.0	10.4	+ 29.3
単価 (円) (売上高/旅客数)	9,138	12,844	+ 40.6

*1 座席利用率のみ前年差

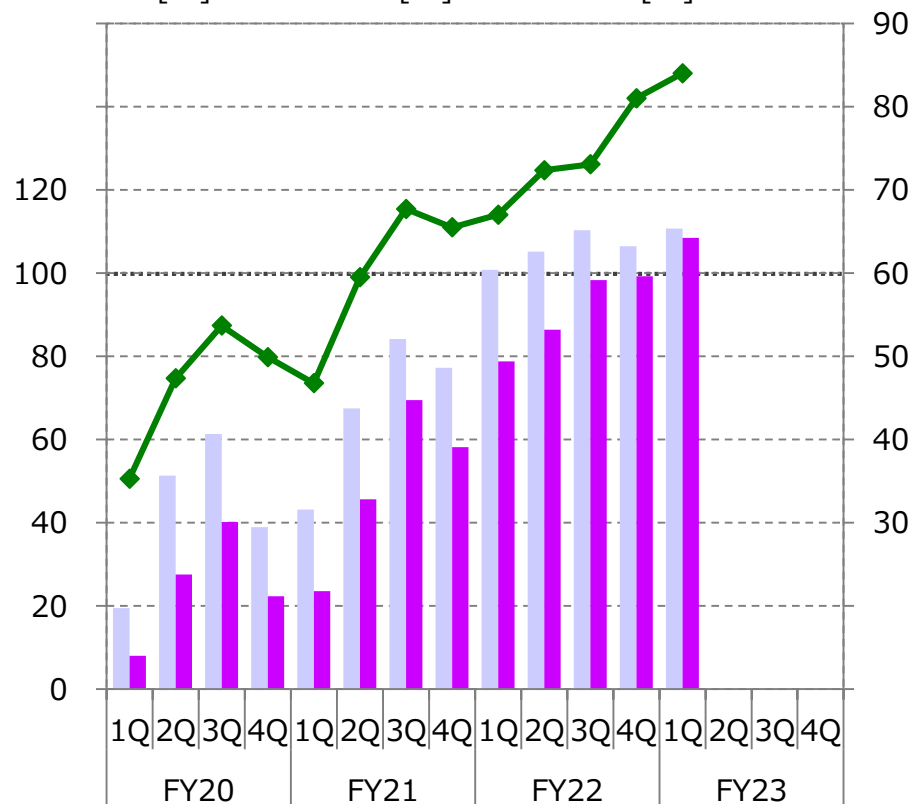
*2 売上高に付帯収入を含む

Peach Aviation (事業動向)

四半期別 実績推移 (内際計)

[左] 指数 (コロナ前 (2019年1~12月) 各四半期実績=100)
[右] 実績 (%)

■ [左] 座席キロ ■ [左] 旅客キロ ◆ [右] 座席利用率



* 2019年はバニラエアの実績を含む

直近のトピック

2023年サマーダイヤ(23.3.26~)以降の国際線展開

➤ 新規開設

2023.3.27~ 中部-台北

➤ 運航再開

2023.5.11~ 関西-上海

2023.5.12~ 羽田-上海

2023.8.1~ 関西-高雄

➤ 増便

2023.3.26~ 沖縄-台北 (週7便→週14便)

2023.3.26~ 関西-バンコク (週6便→週7便)

2023.6.1~ 成田-台北 (週7便→週14便)

ANA国際旅客 方面別実績（構成比）

* 2019年実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

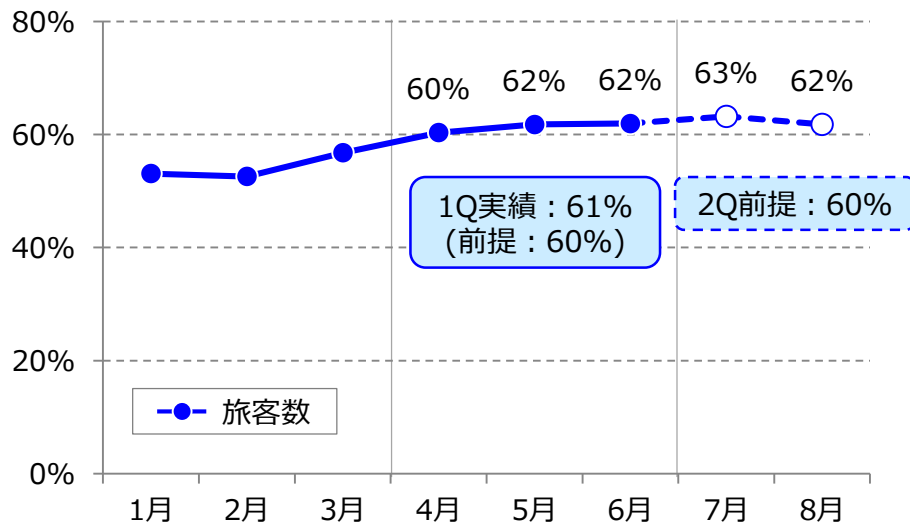
		(参考) FY2019 1Q構成比	FY2023 1Q構成比	コロナ前実績 との差異
旅客収入	北米	30.8	40.3	+ 9.5
	欧州	20.7	15.5	△ 5.2
	中国	14.1	6.5	△ 7.6
	アジア・オセアニア	29.6	32.7	+ 3.1
	ハワイ	4.9	5.1	+ 0.2
座席キロ	北米	32.5	38.3	+ 5.8
	欧州	17.6	12.3	△ 5.3
	中国	9.7	4.6	△ 5.1
	アジア・オセアニア	35.1	38.4	+ 3.2
	ハワイ	5.1	6.4	+ 1.3
旅客キロ	北米	33.1	42.5	+ 9.4
	欧州	17.6	12.8	△ 4.8
	中国	9.7	3.2	△ 6.6
	アジア・オセアニア	33.8	35.4	+ 1.6
	ハワイ	5.8	6.1	+ 0.3

ANA国際貨物 方面別実績（構成比）

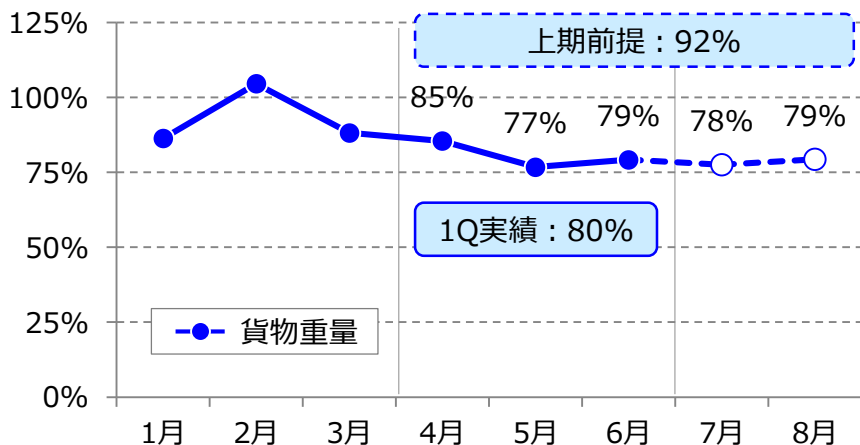
	(参考) FY2019 1Q構成比	FY2023 1Q構成比	コロナ前実績 との差異	
貨物収入	北米（ハワイを含む）	36.6	38.5	+ 1.9
	欧州	14.9	9.7	△ 5.2
	中国	21.6	24.0	+ 2.4
	アジア・オセアニア	23.4	26.1	+ 2.6
	その他	3.4	1.6	△ 1.8
有効貨物 トンキロ	北米（ハワイを含む）	44.2	45.8	+ 1.5
	欧州	12.9	6.4	△ 6.5
	中国	14.0	14.4	+ 0.4
	アジア・オセアニア	27.1	33.0	+ 5.9
	その他	1.8	0.4	△ 1.4
有償貨物 トンキロ	北米（ハワイを含む）	43.8	50.3	+ 6.5
	欧州	16.9	10.0	△ 6.9
	中国	12.7	14.1	+ 1.4
	アジア・オセアニア	24.7	24.8	+ 0.2
	その他	2.0	0.7	△ 1.3

航空事業・事業別の需要動向（コロナ前との比較）

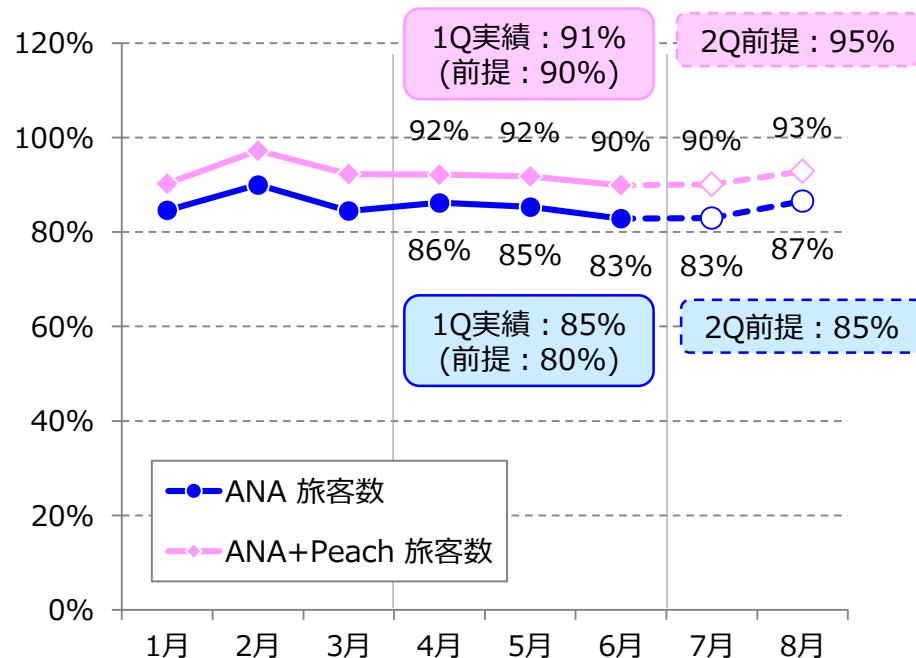
1. ANA国際旅客



2. ANA国際貨物



3. 国内旅客 (ANA・Peach)



* グラフは全てコロナ前との比較

- ① 1~3月実績 : 2019年 1~3月 (2018年度 4Q) との比較
- ② 4~6月実績 : 2019年 4~6月 (2019年度 1Q) との比較
- ③ 7~8月見通し : 2019年 7~8月 (2019年度 2Q) との比較

* 2019年実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

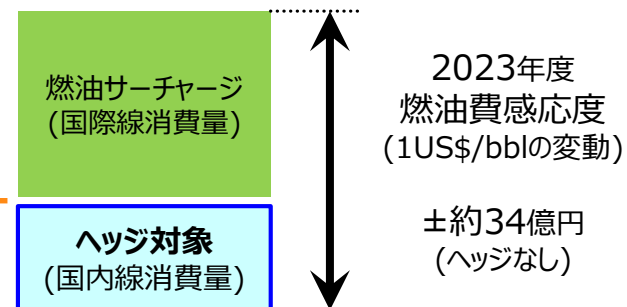
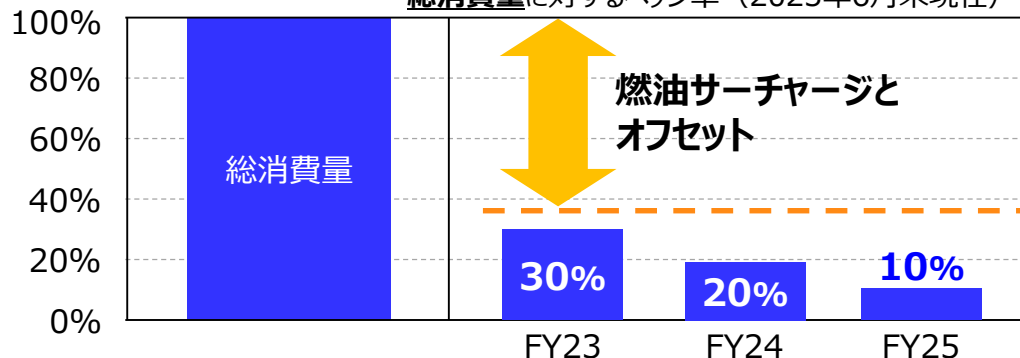
燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANA)

1. 燃油ヘッジ 基本方針

- 国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
- 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージで対応)

(US\$/bbl)	FY23 1Q実績	FY23前提
ドバイ原油	77.6	80
シンガポールケロシン	91.6	100

総消費量に対するヘッジ率 (2023年6月末現在)

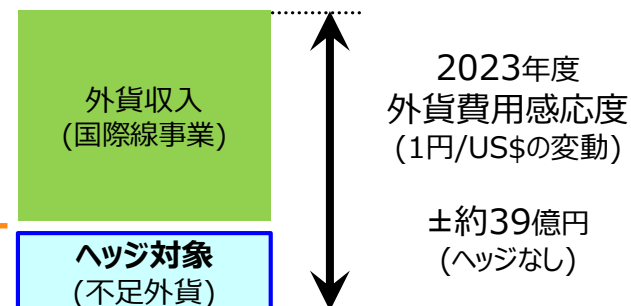
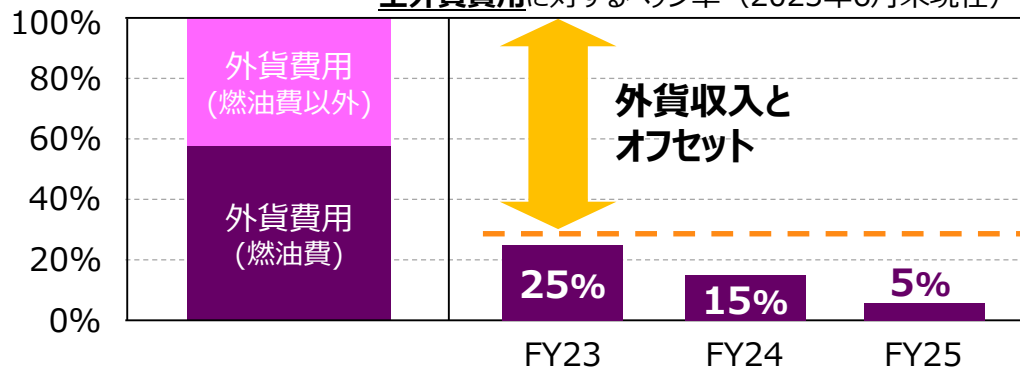


2. 為替ヘッジ 基本方針

- 不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)

(円/US\$)	FY23 1Q実績	FY23前提
ドル円レート	137.4	135

全外貨費用に対するヘッジ率 (2023年6月末現在)



航空機数

	合計					退役済み機材* を除く		
	FY2022 期末	FY2023 第1四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数	FY2022 期末	FY2023 第1四半期末	前年度 期末差
Airbus A380-800	3	3	-	3	-	3	3	-
Boeing 777-300/-300ER	18	18	-	9	9	18	18	-
Boeing 777-200/-200ER	10	10	-	9	1	10	10	-
Boeing 777-F	2	2	-	2	-	2	2	-
Boeing 787-10	3	3	-	2	1	3	3	-
Boeing 787-9	40	40	-	34	6	40	40	-
Boeing 787-8	36	36	-	31	5	36	36	-
Boeing 767-300/-300ER	15	15	-	15	-	15	15	-
Boeing 767-300F/-300BCF	9	9	-	6	3	9	9	-
Airbus A321-200neo	22	22	-	-	22	22	22	-
Airbus A321-200	4	4	-	-	4	4	4	-
Airbus A320-200neo	11	11	-	11	-	11	11	-
Boeing 737-800	39	39	-	24	15	39	39	-
De Havilland Canada DASH 8-400	24	24	-	24	-	24	24	-
ANA 計	236	236	-	170	66	236	236	-
Airbus A321-200neoLR	3	3	-	-	3	3	3	-
Airbus A320-200neo	10	12	+ 2	-	12	10	12	+ 2
Airbus A320-200	27	25	△ 2	-	25	19	19	-
Peach Aviation 計	40	40	-	-	40	32	34	+ 2
グループ計	276	276	-	170	106	268	270	+ 2

* 退役済み・売却待ちまたはリース返却待ちの機材

航空事業以外のセグメント

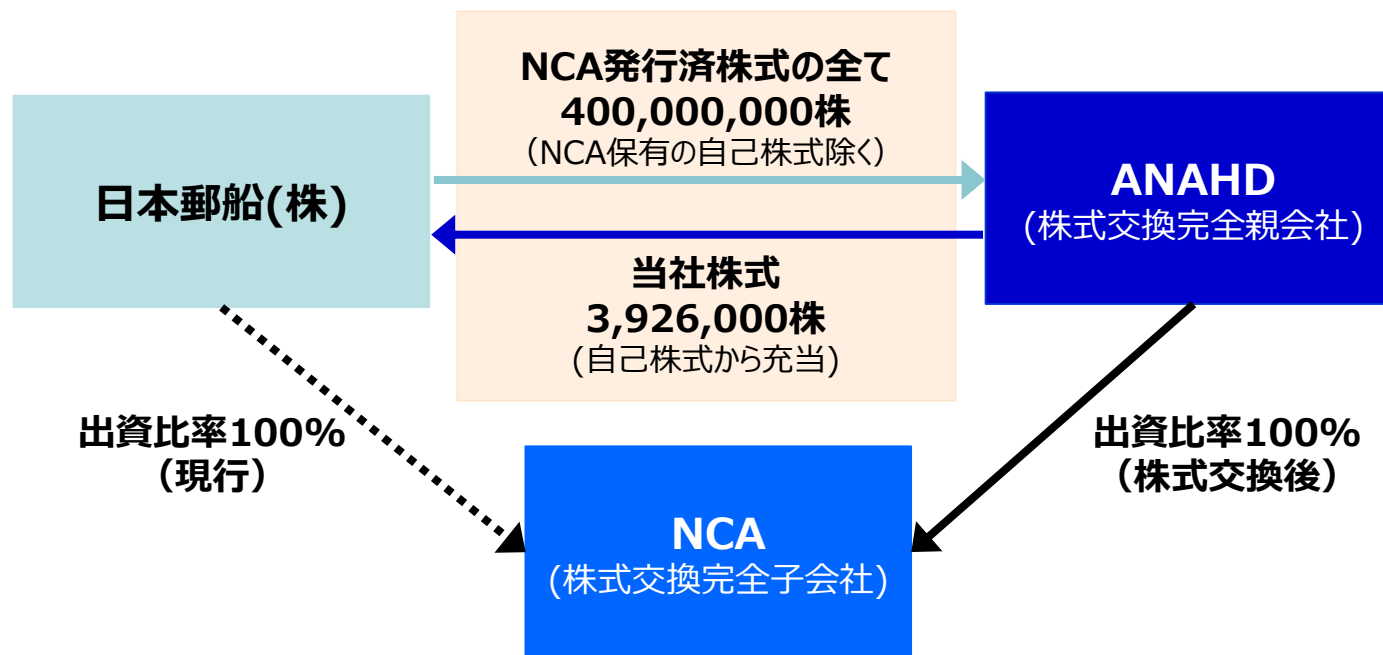
(億円)	航空関連事業			旅行事業		
	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年差	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年差
売上高	554	675	+ 121	139	177	+ 37
営業利益	19	31	+ 11	△ 5	1	+ 7
減価償却費	10	9	△ 1	0	0	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	30	41	+ 10	△ 5	2	+ 7
EBITDAマージン(%)	5.6	6.1	+ 0.5pt	-	1.4	-

	商社事業			その他		
	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年差	FY2022 第1四半期	FY2023 第1四半期	前年差
売上高	224	275	+ 50	89	90	+ 1
営業利益	5	11	+ 6	2	0	△ 2
減価償却費	2	2	△ 0	0	0	△ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	7	14	+ 6	3	0	△ 3
EBITDAマージン(%)	3.4	5.1	+ 1.7pt	3.8	0.4	△ 3.4pt

【参考】日本貨物航空株式会社(NCA)の完全子会社化について（2023年7月10日公表）

株式交換によるNCAの全株式取得について、日本郵船株式会社と最終合意

1. スキーム概要（株式交換）



2. 今後の予定

- ・ 関係当局の認可等が得られることを前提に、2023年10月1日を効力発生日(クロージング日)として株式交換を実施予定
- ・ クロージング後(株式交換完了後)に、当社業績予想への影響を精査する予定

(Memo)

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
 私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます
 私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ワクワクで満たされる世界を

私たちは、空からはじまる多様なつながりを創り、
 社員・お客様・社会の可能性を広げていきます。

グループ行動指針
(ANA's Way)

私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)
安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)
常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)
誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)
多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)
グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、感染症の継続・拡大、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R部

Eメール : ir@anahd.co.jp